

# 令和元年度 島田市シルバー人材センター事業計画

## 1 はじめに

我が国においては、少子高齢化が進み人口が減少している中で、経済が安定した成長をしていくために、働く意欲と能力のある高齢者が年齢に関係なく活躍し続ける「生涯現役社会」を実現することが益々重要となっています。そして、国は、産業・経済の好調を背景に豊かな経験を持つ高齢者の活躍、中でも就業を希望する高齢者に就業の機会を提供するシルバー人材センター事業に大きな期待を寄せています。

当センターは、今後も現役世代を支え、また人手不足分野を解消するとともに、急増する高齢者の受け皿として就業機会の確保・拡大を図り、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができるよう就労支援をします。そして、シルバー事業の「自主・自立・共働・共助」という理念のもと、会員の生きがいの充実、会員の拡大、安全就業と就業拡大を推進し、地域社会に貢献できるシルバー人材センターとして役割を果たして参ります。

## 2 シルバー人材センターの現状と課題

### (1) 会員数について

65歳未満の会員は、企業の再雇用による実質的な定年延長で、平成21年の106人から現在の33人と激減しています。また、セカンドライフにおける選択肢の多様化などからも入会希望者は伸び悩んでいて、シルバー全体の会員数は減少傾向にあります。このため、地域社会の期待に応え信頼されるシルバー人材センターとして成長していくために、全国シルバー人材センター事業協会が決議した「会員100万人達成計画」に呼応した取り組みが重要です。

### (2) 契約金額について

公共事業の他に民間事業者からの業務を請負う当センターにとって、民間の経済・雇用環境が契約金額に大きく影響しています。緩やかな景気回復が進む中で就業先のニーズが増えてきていて、センター全体としての受注金額は増加に転じてきています。しかし、会員の希望する就業先との隔たりもあり、このマッチングも課題となっています。

### (3) 就業状況について

当センターの事業は、地域社会の理解と信頼に支えられ就業機会を得ています。その結果、現在は一定の就業率を維持できているものの、就労を希望する高齢者の多くは、現役時代の知識やスキルを活用できる就業を希望しています。会員の高齢化や会員の要望に対応できる就業先の確保も課題であります。

また、会員の車運転事故防止への取組や就業中の事故撲滅も大きな課題であります。

### (4) センターの経営について

センターの経営は、健全で安定した経営が強く求められています。経営の原資となるのは、基本的に発注者に負担していただく事務費並びに国及び市からの補助金です。国と市の理解をいただき安定した補助金額を得ることができています。ここ数年続けてきた財政健全化対策の成果も実を結び、収支均衡が図られてきました。

また、事務の効率化は不変継続的に取り組む課題ですが、現在の三事務所の効率的な配置

と運営は喫緊の課題であり、中長期的なビジョンで取り組む必要があります。

### 3 基本方針

- (1) 請負と派遣就業を明確にし、会員に適した就業機会の拡大と就業率の向上に努めます。
- (2) 就業に関する知識、技術及び技能向上のための講習会を実施します。
- (3) 就業情報等の収集と提供を推進します。
- (4) 安全就労の推進を図り、会員の安全と就業中の事故撲滅に取り組みます。
- (5) 組織の合理化と運営体制・財政基盤の強化を図ります。
- (6) 社会奉仕作業などにより、会員と地域社会の絆を強め、地域貢献活動の推進を図ります。
- (7) センター事業について、行政との連携を密にし、センターが担う分野は積極的に対応するとともにシルバー制度の周知を図り、普及啓発活動を推進します。

### 4 事業実施計画

#### (1) 就業機会の確保・提供事業

家庭、企業、公共団体等に対して、請負と派遣就業を明確に区分し、会員の希望、知識及び経験に応じた就業機会の確保に努めます。

受託業務については、高齢者の特性である丁寧で質の良い就業を全ての就業先においても徹底し、地域社会の期待に応えるよう努めます。

また、高齢者の多様な働き方の選択肢を広めるため、「臨時的、短期的、または軽易な業務」の基本原則を守り、多様化するニーズに対しシルバー会員が、知識・経験を活かすことができるよう就業機会の拡大化を進めます。

#### (2) 研修・講習事業

会員が、シルバー人材センター事業の理念等を理解し賛同すること。そして、就業に必要な知識や技能を習得することで、質の高いサービスの提供を実現するため、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業や地域就業機会創設・拡大事業」など国の補助事業を活用した研修会・講習会の充実に努めます。

また外部団体等が実施する研修会にも職員を含め積極的に参加します。

予定する主な研修・講習事業の概要は、次のとおりです。

##### ① センターの研修事業（高齢者活躍人材育成事業含む）

- ア 自動車安全運転講習
- イ 作業の安全研修
- ウ 介護（生活支援技能）講習

##### ② 県シ連の研修事業

- ア 新任役員研修
- イ 会員の各種技能研修
- ウ 職員研修

#### (3) 調査研究事業

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス内容の改善・拡充、更には、新たな就業機会の開拓のため、必要な情報の調査研究を行い、シルバー人材センター事業の発展に尽

くします。

具体的には、受託事業について発注者側に満足度や就業会員に関する評価をいただき、サービス改善とともに信頼関係の構築に努めます。

#### (4) 安全・適正就業推進事業

安全は、高齢者が就業等の活動を通じて社会参加をする上で最も重要な課題です。

会員の高齢化が進行している現状を踏まえ、高齢者が健康で安心して仕事に専念できるよう、安全・適正就業委員会を中心に積極的な取り組みを行ない、次のとおり就業事故の撲滅を目指します。

- ① 発生した事故の原因や傷害の症状分析を行い事故防止につなげます。また、就業前に作業環境の安全チェック（KYT）を行うなど会員の安全就業の徹底に努めます。
- ② 安全就業、交通安全に関する技能向上研修会や講習会を開催します。
- ③ 真夏の熱中症対策など、会員の健康管理にも配慮します。

#### (5) 組織の合理化と財政運営

各事務所の地域性を活かしながら機能的な組織づくりを進めます。また、各地域のニーズを掘り起こし、より地域に密着したシルバー人材センターとなるよう努め、公益社団法人の特性に配慮した事業運営に努めます。

##### ① 事務所体制

現在三事務所で運営をしているが、適正な職員配置と人材育成を推進し、効率的な事務の見直しを行います。

##### ② 役員との連携強化

シルバー人材センターの在り方について原点に戻り、中・長期的な視点から職員と一体となった運営の検討を進めます。

##### ③ 財政運営

適切な財政運営を進めるには、安定した収入と支出のバランスが必要であります。将来の財政需要を予測し計画を策定する中で、経費節減に努めるとともに、効率的・効果的な事業運営に努めます。

#### (6) 社会奉仕作業

センター事業は、就業や社会奉仕活動を通じて、地域への社会貢献を進めながら、地域から信頼されるセンターを目指します。また、個々の会員がセンター会員としての意識を高め、より地域社会に貢献できるよう努めます。

#### (7) 普及啓発事業

- ① 行政との連携を密にし、高齢化社会に向けてのシルバー人材センターの役割や社会的意義を広く情報発信します。また、入会説明会により社会参加を希望する高齢者の入会促進を図ります。
- ② 会員の丁寧な仕事ぶりを通じて地域の住民や事業所等の信頼を確保し、シルバー人材センター事業への理解と支援の拡大を図ります。
- ③ 機関紙「シルバー島田」の発行、県シ連発行のパンフレット・チラシ等の配布などにより、より多くの市民に周知し、新入会員と受託事業の増加に努めます。さらに、ホームページをより分かりやすく気軽にアクセスできるよう整備し、市民に活動状

況、就業状況等を情報提供できるよう努めて参ります。